

スローガン 『 安全 ・ 楽しく ・ いきいき ・ キラキラ 』

カテゴリー	反省点	よかった点
準備	<ul style="list-style-type: none"> ・企画会議の前に、反省点の確認と改善をしてから進めるべきだった。 会議の日程をあらかじめ、3か月分くらいまとめて早めに知らせる工夫が必要だった。次回に生かすこと！ →事前に日程を決めておく。 会議の時点で、ちゃんとタイムスケジュールを組んで、事前に全員が周知出来るようにするべきだった。 ・救急箱やペンなど、どこに何を置いてあるのか全員が分かるようにしたかった。 →ロッカーにシール貼って、工具箱とか救急セットとか明記しておくとか、カフェのロッカーにカギをしなくて入れるとか。 ・救急セットを女湯男湯を別々に置いておく。バソウコくらいは各自が持参して必要に応じて使うような体制が出来たら良かった。 ・当日の準備の役割分担を予め会議の時点で行っておきたかった。 ・当日の役割分担そのものも事前の会議(早い段階に)で決めておきたかった。 ・ワッペンや養生テープで担当が分かるような仕組みを設ける。色を変えとか、直接書いておくとか。 ・当日の会場準備は、10時開場であれば、15分前までには終了させておきたかった。準備には時間がかかる！次回は待たせないようにしたい。 →開場時間を遅らせる。ボランティア団体に声をかけて協力してもらおう。 ・テント張りに時間がかかってしまった。男手が必要。(ポー スルターさんのテントの様式がベスト) →設置しやすいテントにする。 ・外に貼る案内(自転車ベビーカー置き場への道順。警告などの事掲示物)の準備が足りなかった。事前に多く用意しておくことが必要。 →前日にお休みだった場合は、予め貼っておく。 ・公民館の会議室利用料が高い。安くあげの方法を考える。 →市役所の後援をいち早く取得して、公民館を安くしてもらえるように交渉する。社協の後援で会議室を借りる。 ・会場が角の奥にあるので、わかりにくかったと思う。自転車置き場も裏手にあつたため。 →もっと分かり易く目立つ看板を用意するべきだった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手作りおもちゃの準備が楽しかった。 ・毎回の会議が中身が濃くて楽しかった。 ・おもちゃがユニークなデザインがいろいろあって好評だった。

<p>OPEN</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目より人数が予想以上に多く、外にも並びすぎていたので受付対応ができなかった →受付の場所を考えてみる。参加する人には事前の予約があってもいいかも。1枚の紙に続けて書いてもらうことに固執せず、複数の紙に分散して書いてもらうとか。 ・カギを持って帰ってしまったケースへの対応が想定されていなかった。 ・団体利用の方への対応策が必要。(前日までに事前確認の連絡を頂く等)スタッフが予想以上の人数に慌ててしまった。 ・前回から考えて、今回は人数が増えることが予測できていたのに、対応できなかった。 ・ロッカーのキーを渡すとき、番号の近いカギを前後の人に続けて渡してたから荷物を入れづらくなってしまった。 →離れた番号のカギを渡せるようにする。さらに、どの番号がどこの場所なのかが分かる図を作る。 <p>■全体的に、受付の用紙と対応を再検討すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学生メンバーが受付してるのが元気があって好感を持ってもらえたと思う。
<p>銭湯ステージ (演技)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音が聞き取りづらく、マイクを用意しておかなかったので、出演者の方に申し訳なかった。 →窓を開けてたから音が逃げてしまった。 ・最大の人数で考えなければと思いつつも、何の対応もできなかったことは最大の反省であった。 ・出演者の方々が、次に出る出演者/演目をトークしてくれたのが良かった。次の出演者が出てくるまでの間のトークも重要だと感じた。 →手遊びを学生チームがチャレンジしてみる。見てる人たちを巻き込む感じで。 ・次に出演者する人がちゃんと待機してくれるように、専属の連絡係を用意する。 →客席からの登場もアリにするとか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オカリナの方達が、子ども達と一緒に遊んでくださったのがよかった。 ・腹話術&折り紙の宮崎さんご夫妻が、急遽スイカを差し入れてくださったので、最後にも盛り上がった。 ・『はらぺこあおむし』は子ども達に大好評だった。初めて見る大きな本とむしのぬいぐるみ出演が良かったようだ。
<p>銭湯ステージ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回同様、マットを立てかけたが、カランの水が出るので困った、という参加者がいた。水がでるといことが分かるように、マットは下だけ敷けばいいのでは？ →次回は試験的に縦マットなしでやってみるのもアリかなあ。マットは柔らかいから、固い板を置いておくとか。カランのクビに何か挟むとか。(シャンプーのポンプみたく) ・マットで隠れていたために、カランの水がでる、ということに注意しておく事を忘れてしまった。 ・サッシの溝が乳児の足を挟まないか心配になった。開け閉めをやすくしながら、安全の確保が必要かも。 →段ボールか何かで被せておけるようにする。扉を閉じたりもするから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・とんぼ工房さんから貸してもらった木の馬も良かった。

<p>水遊び</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園児たちに水遊びをさせてあげられなかった。 ・水鉄砲をやるなら、まどをつける練習をしたかった。子どもの動きが読めなかったので。マトをつけてるうちに子どもたちが撃ってくるから。 ・水遊びはメインイベント。事故があってはならない。スタッフ1名に対し子ども3~4人の子どもをみるくらいでないと、目が行き届かない。 →会議でリハーサルしてイメージできるようにする。安全を確保してこそ、楽しくできる。子どもと遊ぶより安全をききに確保してこそ。親が子どもを預けっぱなしにしないように、親にも責任をもってみてもらうようにする方法を考える。たとえば、親にも濡れても良い格好できて、一緒に入ってもらいようにするとか。濡れても良い格好で、一緒に遊びましょう、と事前に告知しておくとか。交代制にするとか。 ・深い場所に子どもがおぼれないような仕組みが必要。 →スノコみたいなので底を作る。 ・0~3歳児には、水遊びになるまでが長すぎた。プログラムの中間に入れるなど、もう一度見直す必要があるのでは？ →時間配分を考え直す。水遊びは30分だとしても、入ってる時間はしっかりするとか。 ・水しぶきが目に入る事を嫌がる子どもがいたが、やりたい子どももいる。そのバランスが難しいと感じた。 ・普段の銭湯を体験してもらい意味で、普段の銭湯を体験してもらいようなことできないか。 ・お風呂の中に長時間入りすぎているのではないかと心配した。 夢中になってずっと入っている子どもの顔が真っ赤になっていた。また、人数が多すぎたせいか、小さい子どもと大きい子どもごっちゃになっていて怖かった。次回は入れ替え制か、時間制限を設けることも必要。 ・おもちゃづくりにビニールテープ使いすぎ(泣) ・すくった金魚をにがす企画の仕組みがあったら良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水遊びの手作りおもちゃは好評で、「自宅で作ってみよう」との声アリ。 白梅メンバーの手作りおもちゃによる水遊びがとても良かった。 ・水鉄砲を使った水風船落としは、和紙が思ったよりも強くてどうしようかと思ったが、逆にやけになって、落とそう！と夢中になってくれたので、結果的によかった。水風船は落ちても割れないことは予想できていたが、それを帰りのお土産にすることもできたので良かった。 ・お湯とマト当てで別けることが出来て人を分散できて良かった。 →ローテーションみたいにできたらもっとよかった。 ・入る前にママたちに説明したことが良かった。
<p>おひる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食事時間が個々に違うので、柔軟な対応が必要だった。(食事をする場所や、早めに食事してそのあと水遊びの子には多少配慮する等) →先に食事が出るようなコーナーを設けてもよかった。 ・外の食べる場所が、長いすだったが、ブルーシート敷いてそれで食べられるようにするとかしたかった。小さい子どもが座れないから。 →くめがわ湯さんからブルーシート借りて、下に段ボール敷く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・黒焼きそば完売。ぜひ次回もやってもらいたい。
<p>外</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・きゅうりに味噌とマヨネーズを用意したことで売れたのだと思う。次回は事前に準備がいるかも。 →マヨネーズは1回も使われなかった。 ・蚊が飛びまくってた。かゆそうだった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外のコーナーは、中とは時間の流れ方が違うように感じ、ゆったりとした雰囲気でも良かった。 ・用意した自転車置き場が足りなかったが、機転を利かせて範囲を広げてもらえた。

	<ul style="list-style-type: none"> ・豊島屋さんの PR をもっとするべきだった。参加企業だけど、物品のみの出演だったので。 →かき氷の隣に樽を置くとかすれば良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相場建設さんの手作りおもちゃ教室が良かった。とても良い経験になる。 ・お豆腐屋さんも喜んでた。 ・味噌がチューブになってて使いやすかった。出汁入りだったし。
<p>スタッフ間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・動いているようで動けていない点があった。 ・何か用を頼んだときに、それができない時、できない事もきちんと話して認めていくことが必要だと感じた。(ハウレンソウ) ・他の担当者の状況が把握しきれず、動きづらい点もあった。 ・担当ごとの分担内容も、もう少し丁寧知らせてほしい。前半で、予想以上に人がきたので、スタッフそれぞれが右往左往して、気持ちに余裕がなかった。 ・イベントの内容にばかり目がいきってしまい、昼食の取り方など、細かいルールが決められていなかったことにも反省。 ・一連の流れをイメージできなかったことが一番の問題だった。これができるれば、もっとスムーズに全体が進められたと思う。 ・あれだけ集まるとボランティアでも良いから看護師さんがいるとよかった。 →引退した看護師さんを探そう！ ・前もってメンバーを確保しておくべきだった。 →多すぎても良いくらい集めても良かった。 ■とにかく会議中を含めた事前準備が甘かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・とにかく白梅の学生たちが生き生きとして、よかった。(ポールスタア社長より) ・みんなが、目標やテーマを共有できた。 ・「安全楽しくイキイキキラキラ」を当日開場前にみんなで唱和して共有できたことが良かった。
<p>参加年齢</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1名だけだったが、0歳児の参加は怖い、とアンケートに書かれていた。年齢別に分ける配慮も必要か？ →前回のようゆったりした空間があればよかったが、今回は沢山人がいてゆったりできるばしょもなかったのも危ないと思わせる側面もあった。3～6歳は危なかった。初回のように0～3だけに絞って開催の方がよいかも。子育て支援というのであればなおさら。しかし、出店とかとなると、0～1歳は食べないよね。 	<p>今回の取り組みをしなければ、これらが分からなかった。そういう意味では意味があったとおもう。</p>

<p>イベント全体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営面で、最後の詰めが甘かった。 最大入場数の想定で、もっときめ細かく決めて決定事項を共有していくことが、次回の最重要課題。今回大きな事故がなくて本当に良かった。 ・みんなが楽しんでいたのはよかったが、詰めが甘くなってしまった。 ・ヒヤリ、ハットがいっぱいあったので、今後の反省を課題として、スタッフを増やす、入場制限をする等考えていきたい。 ・エコへの取り組みをもっと強化する。 <p>→割り箸、バックとか。ゴミを減らす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろあったが、1つ1つがとても楽しかった。 ・異年齢間の交流ができて良かった。 ・飛び入り参加で、塗り絵を実施してくれた「おべんとクラブ」さんも良かった。 ・手作りの良さが、本当によく表されていた。 ・1日とても楽しく過ごせた。 ・手作りおもちゃで子ども達が喜んでいて。 ・学校でのワークショップはスタッフ1対こども1だが、そこに保護者が入ってくるのははじめての経験。新鮮で楽しかった。 ・スイカ割りが大盛り上がり。小さい子どもには目隠し無し、小学1年生は一周り、2年生以上は二周り・・・最後に割れて良かった。 ・地域のイベントとして認められたのだと実感できた。 ・事故がなくて本当に良かった。 ・大多数の人が満足していたようだ。 ・午後の部になると、スタッフも平常心を取り戻し、目が合うととびっきりの笑顔が返ってくるようになり、参加者といっしょに楽しんでいる雰囲気が、とても居心地良かった。 <p>とにかくめっちゃ楽しかったです。これだから止められないですね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真撮影の最中も、こどもたち・ママ・スタッフ・協力いただいた企業やNPO団体それぞれがとても楽しんでいることが伺えた。 ・本来は小学生は対象外だったが、スタッフがまとめて上手に誘導してもらえ、夏休みの良い思い出ができたと思う。 ・楽しかった。なんと言ってもこれが一番。お豆腐屋さんのことが一番良かった。みんなに受け入れられて本当に良かったと感じた。 <p>銭湯については塩素が足りずハラハラしてしまったし、トイレが圧倒的に足りなかったので対応を考えたい。2回目の開催だけあって、スタッフみなさんの動きが立派であった。他市からの問い合わせもあり、次回への期待も大きい。</p> <p>(銭湯ご主人)</p>
---------------	---	---

表題のスローガン 『安全 ・ 楽しく ・ いきいき ・ キラキラ』について

当日、スタッフがこのイベントをどんな視点で運営するかをまとめたスローガン。

まずは、来場する子どもたちの**安全が第一**。

そして、来場者も自分たちも**楽しくできる**こと。

そうすれば、スタッフも来場者も**いきいき**と**キラキラ**輝くイベントにできるはず！

という思いをもって、スタッフ全員が共通の思いを胸に取り組みました。



作成：NPO 法人ソーシャライズ

www.sociariise.or.jp